

広  
報

# せいよ

この風景、誰のものか

特集

## かやぶき屋根がなくなる日

情報

- ◎マニフェスト2012中間評価を公表
- ◎市の歌ができました
- ◎保育所へ入所するお子さんを募集 ほか

# 12

DECEMBER2014  
NO.128

平成26年9月28日

市内からかやぶき職人が消えた。

その伝統と技術は受け継がれることなく、幕を下ろしました。

市内にただ一人となっていた「かやぶき職人」の浅野頼光よしかづさんが先日、この世を去ったためです。80歳という年齢になり「これが最後の仕事になるかも」と口にしながら、松の窪堂（野村町）のふき替え作業を終えてわずか4カ月後のことでした。

生前、「昔からの伝統を残していきたいけど、かやぶきの建物も少ないけん仕事として食べていけれん。やろうという人はおらんわいなあ」と話していた浅野さん。彼は、県内最後のかやぶき職人だった可能性が出てきました。というのも現在、愛媛県のどこに職人がいるのか分からない状態なのです。なぜ技術は受け継がれなかったのでしょうか。どうして今なお市内に残るかやぶきは、年々姿を消しているのでしょうか。

「需要がないから数が減る。必要とされないから消えていく。かやぶきが瓦ぶきになっても私の生活には影響がないし、時代に即して変化していくのは自然なことじゃないの？」

こう思う人もいるかもしれません。確かに多くの人にとって「かやぶき屋根がある風景」は非日常です。実際、市内で目にすることができるのは宇和や城川、野村の一部のみ。そこでも年々、かやぶきは姿を消しています。

しかし、これは本当に「自然」なことなのでしょうか。

市内から姿を消した職人と、姿を消しつつあるかやぶき屋根を通して、いま地域に起きている問題について考えます。

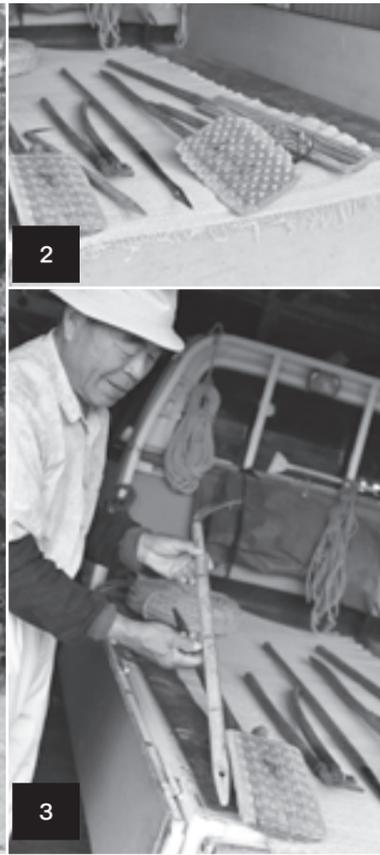
特集

# かやぶき屋根がなくなる日

いなくなつて当たり前？

# なぜ職人は消えたのか

「いいれ」がなくなった集落でかやぶきを守り、それを仕事にしていた頼光さん。  
今、一人となった十子さんは  
「住める間はこの家に住み続けたいけどもうふき替えはできんけん、我が家もいずれは…」と語ります。  
どうして技術は継承されなかったのでしょうか。  
なぜ職人は消えてしまったのでしょうか。



父ちゃんの中には  
諦めの気持ちが  
ずっとあった

「昔は『いいれ』言うて、毎年どこかの家をみんなでふき替えよつたんよ。山の向こうに広い『かや場』があつてな。ここにお嫁に来たときには9戸ほどあつたんやけど今では4戸。『いいれ』は何十年も前になくなつてしもうた。かやぶきは、うちだけ」。

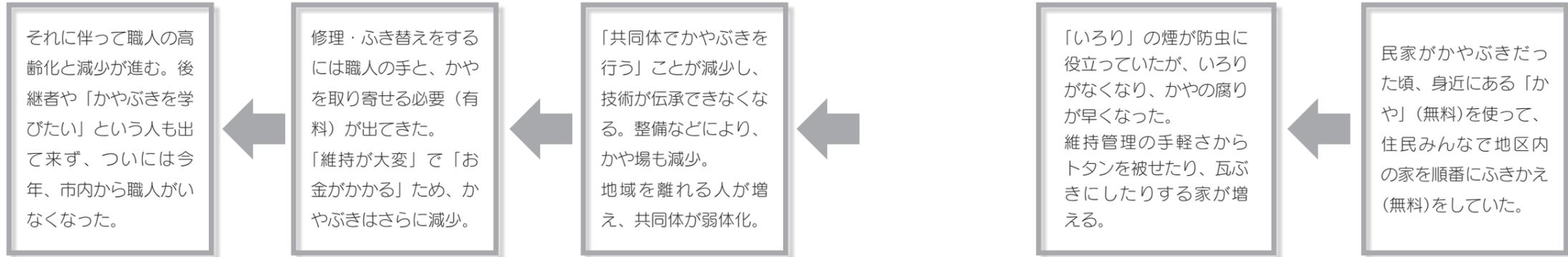
こう話すのは、浅野頼光さんの妻十子さん(75)。自宅の屋根は「父ちゃん」こと頼光さんがふいたかやぶきです。

「棟梁は一本気でまっすぐな人やつた。この屋根もまっすぐそろつた傾斜が美しいでしょう？雨や雪から守るための形なんですよ」とほほ笑むのは、十子さんの実弟井上福茂さん(74)。二人は、頼光さんの仕事を今までに何度か手伝つたことがあります。黙つて自分の仕事をこなしていく職人かたぎな頼光さんですが、80歳で挑んだ「松の窪堂」のふき替えの際には「高いところが怖い」と口にしていたと十子さんは話します。

「父ちゃんも『若い人が来たら教えんことはない』言うて話したんよ。でも、諦めの気持ちがずつとあつたわいな。息子や娘らもここを離れて、よそで仕事を持つとるし。かやぶき自体がなくなりよつて、食べていけんけん仕方ないって」。

県外には職人がいるけれど  
美山町(京都府南丹市)では、一時期3人になつた職人が18人に増えたといひます。重要伝統的建造物群保存地区に認定されたかやぶき集落があり、年間70万人以上が訪れるまちだからでしょう。

県外に職人はいますが、そこから呼び寄せるとなると交通費がかかります。市内に職人がいた強みを失つた私たちは、今後ますますかやぶきから遠ざかるしかないのでしょうか。



文化体育振興課 考察

【写真】 1. 十子さんと弟の井上さん/2. 頼光さんの仕事道具。全て手作りだった。中でも屋根ばさみ(左から3番目・屋根の形を整えるもの)は誰にも使わせなかったという/3. 「この鎌、目盛を打つて寸法も図れるし、針穴から縄も通せるんよ」と井上さん

※1…共同作業を表す「結(ゆい)」が語源。お互いに助け合うという意味の「結入れ」がなまって「いいれ」になったと考えられる。(県歴史文化博物館 専門学芸員大本敬久さん談)



浅野頼光さん

消えてしまうかもしれない風景

かやぶきと、その先に続く棚田が美しい調和を見せている下遊子茶堂。ふきかえから18年が経過し、今、岐路に立たされています。

「下遊子は現在11戸。老朽化したかやぶき屋根を今後どうするか、2回にわたって皆で話し合いました。結論としては、瓦ぶきに変えようという意見で今のところ一致とります。年寄りらは『見た目も格好も茶堂らしいけん、かやぶきがいい』と言うたんやけど、若いもん（50歳代）からは『かやぶきの寿命は15年。これからますます戸数も減る過疎集落で、みんな年々年老いていくのに、管理ようせん』という意見が出て。今では茶堂での行事もなく、ただ建物がそこにあるだけ。15年経ったら『あのときかやぶきにするって言わんかったら、今こんな負担せんでよかったのに』って思うかもしれません。こたわん（難しい）というのが正直なところだと思います。昔は地域の信仰と憩いの場じゃったんやけど」

下遊子区長 岡 貢夫さん（77）コメント



# 地元のジレンマ

「次世代の負担になるけん、こたわん」

「次世代のお荷物になるようなことはできん」。これは「茶堂」のかやぶきを、去年鋼板ぶきに変えた元鎌田区長（野村町）の言葉です。市ではかやぶきを優遇する補助を行っています。年々減少していく流れを止めることは難しいのが現状です。かやぶき屋根がなくなる裏に潜む、地域が抱える問題とは。

11から2へ。これはかやぶきの減少を表す数字です。合併してからの10年間で修理したかやぶき「茶堂」11軒のうち、そのままの姿を保ったものは2軒。残り9軒は瓦ぶきなどに姿を変えました。改修する8割以上の茶堂が、瓦などを選んでいるのです。なぜ市内では急速にかやぶきが姿を消しているのでしょうか。

### かつては地域の中心

茶堂（ちやどう）という言葉は初めて聞く人も多いかもしれません。それもそのはず、市内でもこれがあるのは宇和と城川、野村の一部のみ。内部に弘法大師像などの石仏が安置されていて、



住民にとっては信仰の場所でした。ここで旅人へお茶の接待なども行っていたようです。そして「おこもり」で親交を深める地域の中心地でもありました。茶堂は市内の他に内子や大洲、高知の梶原など南予の山間部に点在していて、その建物で行われる習俗が昭和53年、国の民俗文化財（無形民俗文化財）となっています。正確な数は現在調査中ですが、宇和で4、城川で54、野村で150ほどではないかと市では考えています。そのうち、かやぶきの茶堂は20余りになっているのではないかと見えています。

### 現在ではお荷物…？

昭和53年には城川に59の茶堂が存在していたという資料が残っています。それが現在の推定数は54。この35年で、朽ち果ててなくなった茶堂もあるのが現状です。茶堂は基本、地元で管理・修繕しています。市はかやぶき茶堂を守るために助成制度を設けていますが、減少は止まりません。その背景には、地域の過疎高齢化が潜んでいます。

「市は守れ守れと言うけど、実際補助を使ってもトタンに比べるとかやぶきの方が倍高い。その費用は地区のみ

### 市が行っている茶堂への助成

工事内容によっては、かやぶきの方が地元負担が安くなる場合があります。  
**屋根がかやぶきの場合**  
 かや代は全額補助。材料代は2/3、人件費は1/2補助。補助金上限150万円。  
**屋根がかやぶき以外の場合**  
 材料代（人件費）1/2のみ。補助金上限100万円。  
**問** 文化体育振興課 ☎0894（62）6416

んなで負担して出さないけん。昔に比べると戸数も減って、一戸あたりの負担も大きい。うちの集落では『お堂番』も残ってるけど、かやぶき屋根を残すメリットは何なのか。確かに見た目はかやぶきの方がいいけど、大事なものは格好じゃなくて生活。これからますます人が減っていく集落で、維持費用がかかるものを残すことは次世代にとってのお荷物。負担になることはできん」。去年、かやぶきを鋼板ぶきに変えた元区長 志賀信清さん（65）は、鎌田茶堂の前でこう話します（写真右）。修繕の際、変えることに関して反対する住民はいなかったといえます。かやぶきを守るよりも、集落の維持と自分たちの生活で手一杯な地域の実情が、そこにあるのです。

※1…地区中の家族総出で茶堂に集まり、酒宴を開く行事。話して飲んで唄って、懇親と情報交換を図っていた。  
 ※2…「茶堂の習俗」（高知県愛媛県無形の民俗文化財記録第31集）文化庁による。  
 ※3…8/1～8/31のお盆月に、毎朝茶堂の石仏にお茶を供える当番のこと。

# 「変える」と「守る」の違い



1

友だち、恋人、家族…

「守りたい」という言葉であなたが想像するのは

「大切だ」と思っているものではないでしょうか。

「無用」、「負担」、「お荷物」だから変えたいと思っているものが

実は大きな財産になるとしたら、

「なくなっても私には関係ない」と思っているものが

実は後世への宝物だとしたら、

それでもあなたは「関係ない」と言って切り捨てますか？



2

## 残り2戸、それでも守る

富子さんは夫に先立たれて現在一人暮らし。横山集落に嫁いで来たときから、舅（しゅうと）に言われていた言葉があります。

「茶堂は守らないけんものやゆうて、

おじいさんから言われとるんじや。ここにはこんぴら様とお天狗様、お大師様が祀られとる。お堂の下には五輪様。特にお天狗様は大切じゃゆうて。」  
今では通る人がいない里道を進んだ先の、杉林の中に横山茶堂はあります。富子さんは月に1〜2回通い、掃除や維持管理をしています。この日は大洲市から娘の和美さんも来て、一緒に向かいました。

「最初はかやぶき屋根やったんですけど、私が小学生くらいになるとタコに変まりました。おじいさんに手を引かれて、お正月には茶堂へ行ってきましたね。当時は7戸ほどあって、ずっと昔には1年交代で茶堂の当番をしていたんです。今では母が、茶堂を守る

1. 土居富子さん。「集落に私一人になったとしても守らないけん」とほほえむ。
2. 和美さんと。太鼓があるのが横山茶堂の特徴。
3. 茶堂までは里道を通って徒歩10分。杖をつきながら一歩ずつ。



3

ためとって維持管理をしています」と和美さん。昔、茶堂は地域の中心でした。信仰の場、行事を行う場、集いの場、旅人をもてなす場として住民と共にありました。しかし現在では使われることもなく、地元の人々の多くは「ただそこに建っているだけのもの」と認識しています。

「使ってもいない、意味をなさない建物なら、後世の負担にならないように壊してもいいのでは」という声すら上がっているのが現状です。

「この中には地域の葬式で使いよった道具も残つとる。こんな大事な茶堂を壊すやなんか、私にとっては信じられん。やけん、私がおらんかったら子どもらが守る。その次は孫らが守る。そうやってつないでいかんといけん。大事なものをなくすことは、ようせん」と富子さんは話します。

## それは「動機」にあり

「もうこたわん」と言っただかやぶきをやる集落と、「一人になっても茶堂を守る」と言う富子さんの例から、「変える」と「守る」の違いは動機にある

ことが分かります。現状をよくしたいから「変える」、大切なものだから「守る」。同じ問題が目の前に起こったとき、人の行動は動機で変わります。そして、変えることで良くなるものと、守ることで価値が保たれるものがあります。

現状をよくするために、負担を軽くするために、子や孫の代のお荷物にならないためにと急速に姿を消しているかやぶき。でも、もし大切さや重要さに気付かずに変えてしまつて、宝を失っている現状があるとしたらどうでしょうか。

# 守る苦悩を

# 生かす希望に



四国最大のかやぶき民家  
「土居家」は、現在17年  
ぶりにふき替え中。  
完成は12月末の予定。

17年前の惣川地区で起きた「一人一束運動」の背景には、住民の熱い思いがありました。  
「お荷物」だともいわれるかやぶきを地域の宝として生かすとき、そこにどんな可能性が広がるのでしょうか。

浅野さん亡き今、「土居家」のふきかえ作業は高知県の職人が行っています。「土居家」とは惣川地区（野村町）にある市指定文化財で、文政10年に建築されたと伝えられる旧庄屋屋敷のこと。四国最大級のかやぶき民家として、現在、多くの観光客でにぎわっています。離れでは宿泊も可能。松山市の人気洋食店で腕を磨いたシェフが作る食事もおいしいと評判です。

### 「人任せの先に、発展はなし」

17年前、土居家で大きな改修工事が行われました。当時、高齢化率43・2%（人口約900人）の惣川地区で起

こつたのが「一人一束運動」です。ふき替えに必要な全てのかやぶきを住民主体で集めました。その数、1万5000束。自分たちの手で刈り、3年がかりで集めたといえます。中学生たちも遠足を兼ねてかやぶきをしました。

住民で組織する惣川地区自治振興会は「土居家を拠点にして地域の活性化を図りたい」、「町任せや人任せではなく、地域の発展のためには自分たちで盛り上げられないといけない」という言葉を残しています。過疎・高齢化への危機感から、地域おこしに取り組んできた団体です。

現在、惣川の高齢化率は65%を超え、人口は当時の半数（約450人）となっています。それでも「土居家」は地区のシンボルかつ「ジオポイント」として、市内外から多くの人が集う場となっています。

### 農村のシンボルとして活用

かやぶきは「農村・田舎のシンボル」として人を惹きつけます。全国ではそれで町おこしをしたり、移住者へ向けPR活用したりしている自治体もあります。

市内では今年8月、高川地区（城川町）の地域づくり団体が、安尾茶堂で



市外の人と地元住民との交流会を実施（写真右）しました。同地区では現在、空き家と耕作放棄地をセットとして、主に都心部に暮らす人を対象に移住交流会を行っています。

集落から人が減り、高齢化が進んでいるのは、市内に限った話ではありません。日本全国で起きている問題です。その中で「自分たちの集落を元気にする可能性」を秘めているものこそ「今ここにあるもの」ではないでしょうか。他のどこにもない、その地域「らしい」ものの魅力を、大本さんは次のように話します。

### 守ることは、子や孫に貴重な資産をつなぐこと

愛媛県歴史文化博物館  
専門学芸員（民俗学）  
文化庁文化財調査員



大本 敬久さん  
おおもと たくひさ

かやぶきの茶堂と棚田は、全国でもここにしかない重要な資源です。白川郷にも、京都の美山にもありません。かやぶきへの補助が出ている市も、全国で数えるくらいです。

それなのに、急速に姿を消しているのが残念でなりません。「かやぶきじゃなくてもいいじゃないか」という声もあると思います。地域の苦しい現状、戸数が減ってどうにもならない苦悩、高齢者ばかりになる不安も分かれます。しかし、今一度よく考えてほしいのです。かやぶきは本当に後世へのお荷物でしょうか？

人は自分の生活から切り離された瞬間、そのものの価値を見失います。「お金がかかる、維持できない、子・孫らの負担になる」という苦悩は「ここにあるもの」の一面しか見えなくなっているからではないでしょうか。私は自信を持って言えます。かやぶ

き茶堂は地域の宝です。負担どころか子・孫の代の資産になります。実は「城川町の茶堂と山村」は、平成15年に国重要文化的景観候補の「重要地域」として選ばれています。かやぶき屋根と棚田の風景が、山村景観として卓越した価値があると、外部からは認められているのです。私たちがこの景色を守り続けられるとしたら、何十年か後に国の重要文化的景観になるかもしれません。守ることは、可能性を広げることにつながります。

人は利便性だけでその土地に住み続けるわけではありません。住み続けるには誇りが必要です。その土地の誇り、「らしさ」を守ることは、一見時代遅れで意味のないことに思えるかもしれませんが。しかし、今自分たちが手にしている宝を知り、維持する苦悩ではなく生かす希望を考えると、新たな道が開けるのではないのでしょうか。



私らしく、  
地域らしく、  
西予らしく。  
らしさはきつと  
魅力になる。

地元では「藤の棚堂」と呼ばれる松の窪堂。春になるとたくさんの藤の花が咲き誇ります。初夏には水田にかやぶきが映りこみ、「逆さ富士」ならぬ「逆さ堂」が見えることも。

浅野さんがふきかえた最後の「かやぶき屋根」「松の窪堂」は、野村町平野地区にあります。かやは全て、大野ヶ原のものを使用しました。市内の職人が、市内にある材料で手がけた最後の作品です。

改修する5年ほど前から、住民たちは「松の窪堂建設委員会」を設置して協議を重ねました。そして、地区内外はもちろん、県外に出た地元出身者らにも寄付を呼びかけ、資金を集めました。さまざまな意見が出て紆余曲折はあったものの、現在でもこの姿を残している背景には、たくさんの方の熱意があります。

かやぶき屋根がなくなる日、それは地域「らしさ」がひとつ、失われる日です。

「らしさ」とは個性です。自分たちの地域を発信する上で、武器とも魅力ともなるものです。かやぶきが年々減っている今だからこそ、守ることで地域「らしさ」はより輝きます。そして、ただ守るだけではなく地域のシンボル、地域「らしさ」として活用していく先に将来の希望があります。

私たちの住む場所は昨年、県内で初めて「日本ジオパーク」にも認定された、自然と歴史が豊かなまちです。かやぶき茶堂を含めた地域の宝は、四国西予ジオパークにもつながります。あなたの地域にある何気ない風景や見慣れた建物は、生かすことで大きな魅力へと変化します。

今ある地域の財産をどう守り、どう生かすのか。20年後の集落の姿を想像しながら、今一度、見直してみませんか。皆さんと一緒に、行政も専門家も協力して考えていきます。

この特集が、地域の財産を見直し、守り、その先にある「生かす」ことについて考える土台になれば幸いです。

特集「かやぶき屋根がなくなる日」

【参考文献】データベース「えひめの記憶」「ふるさと愛媛学」調査報告書「愛媛県生涯学習センター・平成8年度」、「舞たうん」平成10年10月15日発行号（財）愛媛県まちづくり総合センター）

終わり



市ホームページから聴けます

### 市の歌ができました！



Yurica.  
ゆりか  
野村町出身。1997年岡本真夜デュエットシンガーオーディション全国大会に出場し、23000人の中から15人に選ばれた。現在では自身の活動に加え、作詞提供やスクール講師など幅広く活躍中。  
2004年マキシシングル「ぐゆの実」全国発売  
2007年1stアルバム「ゆりかご」発売  
2009年ミニアルバム「ここにいるよ。」発売

市の歌「いつの日も」が完成し、10月18日(土)のほのぼのコンサートで披露されました。市歌は「西予市ホームページ企画調整課」から聴くことができます。作詞・歌ともに西予市出身のポップシンガーYurica.さんが手がけています。

#### Yurica.さんコメント

この歌を作るとき、最初に思い浮かんだのは西予の景色です。都会から帰ってくると、この地の景色がどれほど繊細で鮮明で温かなものか、改めて実感させられます。だから歌詞に「あざやかな絵の具 撒いたみたいだ」と書きました。

私は両親が他界しているので、「ただいま」と言って帰る実家はもうないけれど、それでもたくさんの地元の人に「おかえり」と言ってもらえます。人の温かさ、景色の美しさをこの歌で伝えたいです。

今、市内に住んでいる人はもちろん、西予を出た人も、来たことがない人にも、「いい古里だな」、「帰りたいな」、「行ってみたいな」と思ってもらえたらうれしいです。そして、皆さんにぜひ歌いつないでいてほしいです。

9市町・2事務組合17施設を選定

### 宇和運動公園が広域防災拠点に



10月2日(木)、松山市で広域防災拠点に関する協定調印式が行われました。

県内で大規模災害が発生したときに、自衛隊や警察、消防などの広域支援部隊や支援物資を円滑に受け入れるため、県と9市町2事務組合が所有する17施設が選定され、市内では宇和運動公園が選定されました。

今後、市内のみならず近隣市町の防災拠点として、県による資機材の整備や訓練などが実施される予定です。

西予市民病院で協定調印

### 災害時、いつでも飲料が可能に



災害時、院内にある紙カップ式自動販売機から無料で飲み物を提供できる協定調印を10月23日(木)、株式会社アベックス西日本と締結しました。

末光院長は「西予市民病院は災害時の拠点ともなる場所。免震構造を採用し、72時間はライフラインも確保できる。職員や被災者を収容するスペースもあり、その上で飲み物を無料提供できるのはありがたい。より設備が充実したと思う」と感謝を述べました。



朝原宣治さん(2008年北京オリンピック4×100mリレー銅メダリスト)と荒川大輔さん(世界陸上日本代表)が10月19日(日)、宇和町小学校で陸上競技教室を行いました。県スポーツ振興事業団と、文化の里スポーツクラブ共催によるもの。

朝原さんは「足だけでなく、体全体を使うのが早く走る秘訣。背骨を意識して」と指導。県内外から集まった小中学生200人は熱心に参加していました。

北京オリンピック銅メダリストが来市

### 朝原宣治さん直伝「早く走るコツ」



10月9日(木)・10日(金)の2日間、県内にいる39人の「地域おこし協力隊」と関係者らが明浜町に集まり、交流研修会を開催しました。

講師の(一財)地域活性化センター理事長椎川忍さん(前総務省自治財政局長・元地域力創造審議官)と前神有里さん(同センター総括参事)は「地域で生きていくために」をテーマに講演。隊員たちは多くの気付きがあったと感想を述べ、学びを深めていました。

県内にいる39人が集合

### 地域おこし協力隊の研修交流会 in 西予



3人の女性医師を表彰

### オイネ賞講演会に勝間和代さん

第3回西予市オイネ賞表彰式を10月5日(日)、宇和文化会館で開催しました。

「全国奨励賞」▶東島 愛さん(佐世保市立総合病院産婦人科医師)…所属する長崎大学病院産婦人科の医局でも高い期待が寄せられ、医学研究分野でも学会発表や論文執筆などに積極的に取り組んでいる。(日本医師会推薦)

「地域奨励賞」▶大藤 佳子さん(社会医療法人同心会 西条中央病院小児科医師)…小児血液腫瘍、母子保健などを専門に活動。難病や障がいを持つ子どもと家族の支援に積極的に関わっている。(愛媛県医師会推薦)

「医学生奨励賞」▶上本 明日香さん(愛媛大学医学部5回生)…薬剤師として地域医療に従事後、愛媛大学医学部に入学。学生間で地域医療やプライマリケアの普及に努めている。(愛媛大学推薦)

講演会では勝間和代さんが「私スタイルで見つけるワークライフバランス」と題して講演。日本の労働生産性は主要7カ国中11年連続で最低であること、労働生産性が低いと長時間労働となり、ワークライフバランスや男女共同参画を妨げている最大の要因であることを述べました。

# 中間評価(要約)を公表します

ママたちにも  
ぜひ読んで  
もらいたい!



## マニフェストの基本理念

誇れる・愛着のもてる「いい実感」のある西予

内容は「8つのせいよづくり」と「42の政策提言」

## 内部評価

副市長を委員長、教育長・部長級職員を委員とする  
内部評価委員会を設置して実施。

## 市民評価

市内65の各種団体役員124人に「評価票」を発送  
して実施。返信数70人(返信率56・5%)

## 評価(採点)

平成26年3月31日(中間点)時点での実施状況(進捗度)を5段階評価。

- すでに実現またはほぼ達成(進捗度80%以上)
- 計画どおりに進捗(進捗度60~80%)
- 計画どおりに進捗しているが今後の更なる工夫や努力を要する(進捗度40~60%)
- 進捗は十分とはいえない(進捗度20~40%)
- 未着手・未実施であり、進捗が認められない(進捗度20%以下)

## 1 新市建設計画の基盤事業の実行

①新西予病院の建設 ④4.0 ⑤3.9

実施状況▼地域の中核病院としての機能を高めるため病床数を10床増床。二次救急病院にふさわしい最新の医療機器を順次購入し、電子カルテシステムを中核とした医療情報システムの構築を進めました。



今後の見通し▼平成26年度は用地取得と事業者の決定などを行います。平成29年4

月の稼働を目指しています。

③公共下水道整備 ④4.0 ⑤3.6

実施状況▼二次認可区域59・7haのうち、平成25年度末約48・7haの整備が完了しています。  
今後の見通し▼平成26年度でほぼ全域の整備を完了する計画ですが、一部は平成27年度になる場合があります。

④明浜支所改築 ⑥1.0 ⑦2.6

実施状況▼市民19人による「明浜支所改築推進委員会」を設置し、答申を受けました。位置は高山小学校跡地とし、国道378号からのアクセス道路を拡張することとしています。ただし道路整備について地元や地権者から同意が得られない場合は、西中学校跡地へ建設することとしています。

今後の見通し▼平成26年度中に基本方針・計画を策定し、平成30年度の完成を目指します。

⑤国道378号整備 ⑧3.0 ⑨2.4

実施状況▼関係自治体で構成する「期成同盟会」で毎年、県や四国整備局へ整備要望活動を実施しています。国道378号西予市分整備率は67・1%(平成25年3月31日現在)。三瓶町津布理く蔵貫間の「蔵貫バイパス(仮称)」は平成25年度新規採択の要望を行いました。

今後の見通し▼「蔵貫バイパス(仮称)」については引き続き強力な要望活動を行います。国道378号俵津バイパス分整備は平成30年の完成を目指します。

⑥漁港整備 ⑩4.0 ⑪3.3

実施状況▼有太刀漁港の防波堤は平成23・24年度に地盤改良、平成25年度に基礎工事とセルラブロックの製作を行いました。田之浜(高山)漁港は平成25年度に西防波堤の整備が完了。平成26年度以降は中防波堤を整備します。  
今後の見通し▼有太刀漁港は平成26年度に残りのセルラブロックを製作し、据え付けて完成となります。田之浜(高山)漁港は平成29年度完成予定となります。

## 2 再生可能エネルギーへの挑戦

⑦バイオマス・風力・小水力・太陽光 ⑧3.0 ⑨2.9

実施状況▼バイオマス発電は東宇和農協が主体となり、大野ヶ原排水処理施設を活用した建設についての調査・研究が行われています。太陽光発電は平成24年度から、市民が市内に住宅用太陽光発電システムを設置した場合に補助金を交付しています。

今後の見通し▼バイオマス発電は東宇和農協で特別委員会が設置され協議中。太陽光発電は国の補助終了などに伴い、平成26年度から補助金の見直しを行います。

## 3 減災のまちづくり

⑩危機管理の徹底

⑪防災道路の整備 ④3.0 ⑤3.0

⑫避難場所の整備

実施状況▼危機管理の徹底については平成24年度末に地域防災計画の見直しを行い、平成25年度に配布を終了。防災道路については平成24・25年度に津波避難路整備を39カ所実施。避難場所については市内84カ所に防災倉庫・テント・簡易トイレの配備を進めています。津波被害が予想される地域に備蓄物資倉庫を3カ所設置しました。

市長が「市政3期目の重点施策」として平成24年度に発表した政策提言を、市では「西予市マニフェスト2012」として整理し、総合計画(市の最上位計画)と整合させた上で、最重要施策として事業を進めています。  
平成25年度でマニフェスト計画期間の半分が経過するため、施策の進捗状況評価をしました。  
④：内部評価 ⑤：市民評価



今後の見通し▼これまでは津波避難路の整備を進めてきましたが、今後は豪雨災害に備えた取り組みも必要。避難所の充実を図るために発電機や投光器など整備を進めていく必要があります。

⑬原子力発電関連の重点施策実施 ④ 3.0 ⑤ 2.8  
 実施状況▼平成24年9月に県・大洲市・西予市・四国電力で「発電所周辺の安全確保に関する覚書」を交わしました。平成25年9月には「住民避難行動計画」を作成し、周知を図りました。県からは原子力災害に備えるための資機材の提供が平成24・25年度にありまし。平成27年度中には県オフサイトセンターが宇和町に建設されることになっています。  
 今後の見通し▼ヨウ素剤の配布について検討していく必要があります。県オフサイトセンターとの連携について協議していく必要があります。

⑭南予の防災拠点づくり ④ 3.0 ⑤ 2.7  
 実施状況▼津波被害のない宇和地区を南予の防災拠点としてアピールしてきましたが、今回県オフサイトセンターが移設されることになり、地理的条件の良さが認められたといえます。平成25年度末に県から宇和運動公園を「広域防災拠点」として選定したいとの打診があり、承諾しました。  
 今後の見通し▼宇和運動公園が「広域防災拠点」として十分な機能を発揮するには、アクセス道路などの整備が必要。県と市で今後、協議を行っていく必要があります。

と競技審判員・記録員の養成を行っています。  
 今後の見通し▼ソフトボール会場（宇和球場・宇和運動公園多目的グラウンド）の改修工事を平成26・27年度の2年間に実施します。相撲会場の乙亥会館は平成27年度以降に軽微な改修工事を予定です。

5 いま生活実感のある産業のまちづくり

⑲適性特産品の発掘・育成 ④ 3.0 ⑤ 2.9  
 実施状況▼生薬である「ミシマサイコ」の栽培に補助金を交付。生産基盤体制づくりを積極的に支援しています。平成25年度の栽培面積の実績は9.5ha。  
 今後の見通し▼野村町だけでなく、城川町や宇和町にも作付範囲が拡大して、今後は市内全体に広がる見込みです。

⑳六次産業の育成 ④ 2.0 ⑤ 2.6  
 実施状況▼27地区の地域づくり組織の中で、地域の農産品を利用した六次産業化への取り組みを始めた地域



⑮行政防災無線整備 ④ 4.0 ⑤ 3.1  
 実施状況▼各戸へ戸別受信機が配備されていなかった野村地区について、防災行政無線デジタル化対応と合わせて進めています。消防防災無線は平成26年度から運用が開始されます。  
 今後の見通し▼他地域のデジタル化対応も行う必要があります。

4 魅力あふれるまち創造・発信

⑯ジオパーク構想の推進 ④ 3.0 ⑤ 3.1  
 実施状況▼当初の目標よりも1年前倒しで平成25年9月24日、日本ジオパークに認定されました。  
 今後の見通し▼これから本番。本市の豊かな地域資源に市民が関心を持ち、誇りを感じるような取り組みを進めながら地域振興につなげます。早急にジオパーク推進計画を策定し、計画的に事業を進めます。

があります。六次産業化プランナーが地域に関わり、アドバイスすることで少しずつ波及しています。  
 今後の見通し▼小さな成功の積み重ねによる一定の効果が期待できます。やる気のある地域を重点的に推進することで一つの成功事例を作ります。

⑳宇和海水産構想の推進 ④ 2.0 ⑤ 2.2  
 実施状況▼平成23年8月の「宇和海水産構想推進協議会」設立以降、漁業者の所得向上に向けて事業を実施中です。  
 今後の見通し▼主に六次産業化や宇和海ブランド確立に向けての事業実施や協議を重ねていく予定です。現在のところ、まだ出口は見えていない状況です。

㉑認定農業者の支援制度確立と農業法人の育成 ④ 4.0 ⑤ 2.8  
 実施状況▼平成25年度から農業用機械や施設などの生産基盤強化に対する支援を行っています。農業法人の育成については、県と市で事業費の3分の2を補助することで「農事組合法人 瀬戸」が平成25年12月に設立されました。  
 今後の見通し▼認定農業者や集落営農組織への支援を継続し、効率的で安定的な農業経営体の育成を進めます。

㉒観光のネットワーク化 ④ 2.0 ⑤ 2.4  
 実施状況▼観光協会の法人化に向け、平成25年度は新規会員の開拓やせい坊のイラスト使用料徴収を新たに実施。ジオパーク認定を受け、旅行商品の造成を進めています。商品化には至って



⑰シーボルトの娘イネを活かした発信 ④ 3.0 ⑤ 3.1  
 実施状況▼平成24年度に「西予市お伊ネ賞懸賞作文事業」を創設して西予市を全国発信しています。重伝建地区内での事業でイネに関する情報発信をしています。  
 今後の見通し▼作文事業は平成26年度からは男女共同参画や女性の活躍促進へとつながる事業内容に転換し、女性団体の協力を得ながら進めていきます。イネへの理解度を上げるため、さらに啓発していきます。

⑱大学生が来るまち発信 ④ 2.0 ⑤ 2.6  
 実施状況▼平成24年4月に「西予市合宿補助金要綱」施行。平成24年度実績2件（18万円）。平成25年度実績2件（10万2000円）。  
 今後の見通し▼市外の大学・高校へ周知を図り、使いやすい制度を目指します。

⑲コウノトリ・ナベツルが選んだ環境のまち発信 ④ 3.0 ⑤ 3.0  
 実施状況▼平成22年度から「田園ロマンの里づくり推進委員会」を設置し、コウノトリなどが安心して飛来できる環境づくりを行っています。平成25年度には、日本野鳥の会役員による地元レクチャー会を開催。  
 今後の見通し▼平成26年度は三蔵宮池（宇和町小野田）の生態系保全施設整備が行われるため、地元・市・県が連携して取り組みます。関係団体への補助金制度を整備して、地元主体の取り組みを促します。

⑳愛媛国体に向けたスポーツ魅力発信 ④ 4.0 ⑤ 3.1  
 実施状況▼ソフトボール会場については平成25年度で実施設計が完了。現在、相撲など競技選手の育成支援  
 ません。  
 今後の見通し▼観光協会の収入増加（新たなせい坊グッズ、旅行商品造成）に向けて取り組みますが、法人化が可能な収入を得られる見通しはまだ立っていません。ジオパーク推進室と連携し、PR強化を図ります。

㉑林業を特徴のある地場産業にチェンジ ④ 3.0 ⑤ 2.5  
 実施状況▼平成23年度に東京都港区と調印した「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定書」に基づいた制度を活用し、港区内での市産材利用拡大に取り組んでいます。  
 今後の見通し▼現在、少しずつ港区への供給量が増えています。しかし、木質部分は二次加工製品が主となるため、当市が考えているスギやヒノキの一次加工製品の利用拡大は進んでいません。今後、需要の高い二次加工製品として供給できる体制づくりが必要です。

㉒商店と買い物難民との連携 ④ 2.0 ⑤ 2.5  
 実施状況▼平成24年12月に「買い物環境等アンケート」を実施。生活交通バ  
 スで交通支援を行っています。  
 今後の見通し▼商工会・地域住民・行政が連携し、商店街の活性化と過疎地のニーズに対応できる「小さな資金循環」の仕組みづくりを検討します。海・里・山の豊富な産品を活用した、市内ネットワークの構築を目指します。

㉓ブランド牛の地元定着支援 ④ 3.0 ⑤ 2.7  
 実施状況▼県では平成23年度から「愛媛ブランド牛」

の開発に着手。平成27年度の一般販売開始を目指して、飼養試験や生産候補者の選定調査を実施しています。今後の見通し▼東宇和農協で計画されている仔牛育成所新築事業の支援を行います。地元農家へは、導入時の無利子貸付を推進します。



6 次世代を育み、豊かに年を重ねるいい実感のまち

⑳市民が行き交う都市計画の整備 ⑨ 2.0 ㊦ 2.2  
 実施状況▼平成21年度に卯之町地区が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されるのを見越して、宇和都市計画道路の見直しを行いました。平成22年4月に宇和・野村・三瓶の都市計画を西予都市計画として統合しましたが、その後具体的な都市計画道路の整備には至っていません。  
 今後の見通し▼駅前開発事業と連携して市街地整備を検討しています。現在、官民連携による事業実施を検討中。平成26年度中には具体的な計画を策定する予定です。

㉑雇用対策の支援 ⑨ 2.0 ㊦ 2.6  
 実施状況▼平成24年度に44人、平成25年度に66人の地域失業者が短期雇用を提供。平成25年度には56人のスキルアップを行い、66人の雇用機会を創出しました。2回の合同面接会では45社の参加があり、85人の雇用についてマッチングを行いました。  
 現在200人規模の食品製造会社の誘致（平成27年度以降）に向けて条件整備を行っています。  
 今後の見通し▼雇用の受け皿となる事業の展開を行います。就業支援事業（各講座）を行い、雇用促進に努めます。

㉒次世代に羽ばたく人材の育成 ⑨ 3.0 ㊦ 3.2  
 実施状況▼長野県松本市交流事業で毎年40人程度の生徒たちが当市を訪れ交流を図っています。当市の中学生も毎年20人松本市を訪問しています。  
 今後の見通し▼今後も交流事業を継続して、子どもたちの文化感覚と感性の醸成に努めます。

㉓過疎・限界集落への支援 ⑨ 2.0 ㊦ 2.8  
 実施状況▼高齢者自身が地域づくりに参加する機会が増えたことで「地域の誇り」を取り戻し、モデルとなるような元気な集落も少しずつ生まれてきました。  
 今後の見通し▼現在5地区の取り組みがモデルとして実践されています。  
 5年の実施計画で平成27年度までの予定。高齢化は深刻な問題であり、事業推進のあり方を検討する必要があります。

㉔文化を継承し守る ⑨ 3.0 ㊦ 3.3  
 実施状況▼文化財保護推進事業や郷土芸能保存事業などの支援、朝日文楽会館の整備に向けた取り組みなどを通して、地域文化の継承と振興を図っています。  
 今後の見通し▼指定文化財の再評価を行うことで、四国西予ジオパークの柱の一つでもある地域の歴史文化を見直します。朝日文楽会館は平成26年度に工事着工、完成予定です。



8 不易流行の文化と学びのまち

㉕小学校改築・耐震 ⑨ 4.0 ㊦ 3.4  
 実施状況▼耐震診断結果に基づき、耐震補強や改築を行っています。耐震補強工事は平成24年度に6棟実施。全学校施設に対する耐震化率は86・9%（平成25年度末）となっています。  
 今後の見通し▼小学校再編計画に基づき、統合校舎の

⑳乳幼児・児童の生き生き支援 ⑨ 3.0 ㊦ 3.1  
 実施状況▼平成24年度から小学生、25年度から中学生の入院費を助成しています。西予市の保育料率（平成25年度）は75・2%（県平均80・4%）。  
 今後の見通し▼県下の状況に合わせて、小・中学生の医療費助成の拡大を図ります。新制度での保育料についても、保護者のニーズや計画に沿って支援を行う必要があると考えます。

㉑医療・保健・介護の情報融合 ⑨ 2.0 ㊦ 2.7  
 実施状況▼特定保健指導システムを活用して生活習慣病予防などに取り組んでいる市民は継続者21人、平成25年度新規34人。高齢者生活支援システムは、見守りセンサー（25人）とTuaを使った認知症の簡易テスト（32人）を実施しています。  
 今後の見通し▼システムの修繕が多発しています。見直しの検討を行う必要があると考えています。

㉒生涯学習の推進 ⑨ 2.0 ㊦ 2.7  
 実施状況▼「西予市まちづくり出前講座」を平成25年

実施状況▼ギャラリーしろかわでは「全国かまぼこ板の絵展覧会事業」で芸術文化を全国発信しています。開明学校の「明治の学校」では、昔ながらの授業や遊びなど、市独自の文化活動を展開しています。  
 今後の見通し▼宇和文化会館の空調設備改修工事を予定しています。文化祭などでは体験型プログラムの拡充を図ります。

㉓学校再編・学童保育 ⑨ 3.0 ㊦ 3.2  
 実施状況▼三瓶地区は平成26年4月に三瓶小学校1校に統合。明浜と野村はそれぞれ平成27年4月に明浜小学校、野村小学校に統合することを決定。大野ヶ原と惣川小学校は統合せず、現状を維持します。  
 現在、宇和地区3カ所、野村地区1カ所、三瓶地区1カ所の計5カ所で学童保育を実施中。登録人数163人（平成25年度）、年間利用者数2万7348人（平成24年度実績）です。  
 今後の見通し▼城川地区では魚成小学校を統合拠点校として協議しています。学童保育は未実施の明浜・城川での実施を小学校再編と併せて検討します。明浜地区では平成27年の小学校統合に合わせて学童保育を開始予定です。

㉔芸術に接し、発信 ⑨ 3.0 ㊦ 3.4

に立ち上げ、初年度のメニュー一覧表を作成するなど周知を図りました。  
 今後の見通し▼さらに市民への周知を図り、利用実績を上げていきたいと考えています。

㉕健康いい実感の健康寿命のまち ⑨ 3.0 ㊦ 3.0  
 実施状況▼野村・宇和・三瓶地区では、ノルディックウォークの自主グループ活動が始まっています。公民館や地域活動として実施することも増えてきました。  
 今後の見通し▼市内全地区を数年ごとに巡回し、ノルディックコースを設定していきます。年1回の大会は、社会教育や商工観光と連携した企画で取り組みます。

7 身近でいい実感の行政をめざす

㉖地域内分権の一層の推進 ⑨ 3.0 ㊦ 3.0  
 実施状況▼地域づくり交付金事業について、地域により温度差が生じていることは否めません。コミュニケーション組織が強い地域はどうまく機能しています。  
 今後の見通し▼研修会で成功事例を紹介したり、身近な課題を地域で考えて問題解決したりして、自主的な活動が促進されることを期待します。

㉗世代に繋がる行政 ⑨ 3.0 ㊦ 3.0  
 実施状況▼事業の見直し、事業費の削減を推進します。財政健全化と政策実現のため、施策の成果と連動した予算編成を行いました。  
 今後の見通し▼メリハリある予算配分を行います。職員研修を充実させ、行政評価システムの理解と活用能力の向上を図ります。



建設を進める必要があります。

評価の分析

8つのせいよづくり（1～8）の各評価は2.7～3.3となりました。内部評価と市民評価の点差は小さく、市民評価が内部評価を上回ったものが3つ、下回ったものが2つ、同数が3つありました。最も評価点が低かったのは、内部・市民評価ともに「いい生活実感のある産業のまちづくり」の2.5でした。42項目（①～⑫）の各市民評価は2.2～3.9、内部評価は1.0～4.0でした。

この結果を、今後の事業推進に生かしていきます。

問 市役所政策秘書室 ☎0894(62)50000

読書週間に多読者表彰を行いました  
4月から9月までの半年間に、たくさん本を読んだ小・中学生に賞状を贈りました。今年度の受賞者数は次のとおりです。

- 明浜町 小学生8人、中学生4人  
宇和町 小学生52人、中学生5人  
野村町 小学生24人、中学生7人  
城川町 小学生15人、中学生5人  
三瓶町 小学生12人、中学生5人

今年の読書週間の標語は「めぐるめぐる本の世界」。ページをめくるだけで、さまざまな土地に行き、魅力的な人々と出会うことができます。それは時として、よく知った自分の世界が揺らぐような体験にもなります。旅の経験は人生を豊かにし、支えとなってくれるはず。しばらく遠ざかっている人も、自由にめぐる本の世界を再訪してみませんか。

◎新刊図書紹介

三瓶分館  
「許されざるもの」樋口明雄(著) 光文社(発)：南アルプスの自然と共に生きる著者の、動物(狼)をテーマにした物語。

「幕末まらそん侍」土橋章宏(著) 角川春樹事務所(発)：映画になった「超高速！参勤交代」講談社(発)の著者。「還暦少年」平山譲(著)講談社(発)：これまでの作品が映画やドラマ、漫画になり話題に。

「フラッシュモブ 警視庁情報分析支援第二室(裏店)」遠藤武文(著) 光文社(発)：著者は「小説宝石」に掲載された「プリズン・トリック」講談社(発)で第55回江戸川乱歩賞を受賞。「探偵工女 富岡製糸場の密室」翔田寛(著) 講談社(発)：世界遺産になった富岡製糸場が舞台の推理小説。「つまみ お酒はもちろん白いごはんにもびったり合うパパッと作れておいしいつまみ113」飛田和緒(著)主婦と生活社(発)：夜長の季節にピッタリで無理のないレシピ。

◎児童書  
「ええことするのは、ええもんや!」くすのきしげのり(著) 福田岩緒(絵)：困っている人を見たらどうしますか?絵本の少年のように一歩を踏み出しましょう。  
「いちごパフェエレベーター」石崎なおこ(作・絵) 教育画劇(発)

保健だより

問 市役所 健康づくり推進課 0894(62)6407

「こころの健康講演会」に300人



「守ろう大切ないのちつなげよう地域の輪」をテーマに8月2日、第8回こころの健康講演会を開催。会場となった県歴史文化博物館には、約300人の市民が来場しました。

基調講演では、大山博史医師(青森県立保健大学)が「幼少期・思春期・青壮年期・高齢期など各年代に応じた大切な経験を積むことが心の発達につながる」と講話。もし、その年代に大

切な経験を積み重なったとき、例えば小さい頃に人との交流が薄かったとしても、年を重ねてボランティアなど人との交流を経験することができるといふ前向きな見解を伝えました。そして、「うつ病は食欲不振や体重減少、不眠、気分の落ち込みが2週間以上続く症状があり、治療の基本は休養とお薬である」と話されました。  
パネルディスカッションでは、3人のパネラー(養護教員、自殺対策専門家、主任ケアマネジャー)が学校や介護などの現場で感じていることを対談。「保健室は他人には言えない悩みを話せる場になっている。悩みを話し、受け入れてもらえる安心感で自分に自信を持った生徒が育っていく」。「心の健康は地域で守ることができると」を伝えました。  
参加者からの感想  
◎年代別の心の発達や経験の大切さが分かった  
◎若い人から高齢の方まで関心が持てる話だった  
◎隣近所との交流を深めたい

愛媛県最古の鹿踊の面



小原五ツ鹿保存会蔵/県歴史文化博物館保管

西予市内は江戸時代には宇和島藩、吉田藩に属していました。藩主は共に伊達家。来年は初代藩主、伊達秀宗が東北仙台から宇和島に入学して400周年という記念の年にあたりますが東北地方と宇和島、吉田藩領内の歴史をつなぐ文化財に「鹿踊」があります。

元和元年(1615)、伊達秀宗が入部した際に鹿踊りがもたらされたかどうかは不明ですが、少なくとも慶安2年(1694)には宇和島城下に伝わっていたことが最近の研究(拙稿「東北から伝播した四国の鹿踊」)で推定されています。

ただし、愛媛における鹿踊の初出文献は、宇和町小原の「清家日記」(愛媛県立図書館蔵)であり、江戸時代中期の宝暦5年(1755)に宇和島城下で習ったと記されています。

※1:「東北民俗」第48号、東北民俗の会、2014年発行

また、小原には五ツ鹿の古面が保存されており、平成21年に面の内側の墨書銘から愛媛県最古の鹿面であることが確認されました。その鹿面には「寛政五丑八月拵」と記され、寛政5年(1793)年に宇和島の職人によって制作されたことが判明し、それまで最古とされていた城川町下相

の鹿面(宇和島城下裡町の森田屋磯右衛門の作)の嘉永4年(1851)よりも半世紀以上も古い面であることが分かったのです。

このように市内の鹿踊を通して東北地方の文化との交流や歴史性を考えることが可能であり、最古の鹿面は県内のみならず日本列島の民俗文化を考察する上でも重要な文化財といえます。

(市文化財保護審議会 委員 大本 敬久)

消防署だより

問 市消防本部 0894(62)0119

平成26年度防火ポスター入選作品が決定

最優秀賞

【小学校1年】三瀬健太(中筋) 佐藤拓巳(中川) 【小学校2年】大塚伊織(野村) 堀内未来(中筋) 【小学校3年】河野晃大(田之筋) 宇都宮健汰(土居) 【小学校4年】吉井千織(大野ヶ原) 山下里歩(俵津) 【小学校5年】三瀬舞愛(野村) 大久保梨呂(土居) 【小学校6年】上原璃乙(宇和町) 小玉和希(野村)

【中学校2年】井上優(宇和) 赤松紗希(野村) 優秀賞

危険物安全協会会長賞  
【小学校1年】山ノ内祐樹(野村) 河野綾香(中筋) 名木惺飛(溪筋) 末光生知果(中川) 山本貴哉(魚成) 【小学校2年】山本琉翔(遊子川) 関岡好実(中筋) 三瀬由貴(中筋) 河野真清(中筋) 西又大空(遊子川) 【小学校3年】原田藍(宇和町) 清家桃(宇和町) 西尾隆成(俵津) 宇都宮美虹(俵津) 兵頭伶生(魚成) 【小学校4年】宇都宮ひかり(俵津) 宇都宮栞菜(俵津) 飯野真歩(宇和町) 富永翔太(土居) 土居大樹(野村) 【小学校5年】谷口凜菜(狩江) 萩森真奈(皆田) 西森剛雅(野村) 【小学校6年】田中穂乃香(皆田) 金子笑美(土居) 【中学校2年】小笠原龍二(宇和)

この他、入選作品が70点あります。今年度は応募総数567点の中から114点が入賞しました。これらの作品は各町の文化祭や、市ホームページで掲載(予定)するほか、CATVで放送し、火災予防啓発のために活用させていただきます。

平成27年度から  
新制度開始

## 保育所へ入所する児童を募集

平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の保育所（園）入所（園）児童を募集します。途中入所の申し込みも必ずお願いします。



西予市立	市外局番0894
高山保育所	
明浜町宮野浦甲306番地	定員30人 ☎(64)0256
依津保育所	
明浜町依津3番耕地274番地	定員60人 ☎(65)0042
多田保育園	
宇和町河内168番地	定員60人 ☎(66)0303
石城保育園	
宇和町西山田164番地1	定員60人 ☎(62)9238
野村保育所	
野村町野村12号96番地	定員150人 ☎(72)0409
土居保育所	
城川町土居86番地	定員45人 ☎(83)0042
魚成保育所	
城川町魚成3644番地1	定員90人 ☎(82)0001
三瓶保育園	
三瓶町朝立1番耕地337番地1	定員90人 ☎(33)0079
二木生保育園	
三瓶町二及1番耕地380番地1	定員55人 ☎(33)0127
西予総合福祉会	
うわまち南保育園	
宇和町卯之町三丁目486番地	定員90人 ☎(62)0460
うわまち東保育園	
宇和町卯之町二丁目144番地	定員90人 ☎(62)4301
中川保育園	
宇和町田苗真土1617番地	定員50人 ☎(62)2329
田之筋保育園	
宇和町新城983番地	定員40人 ☎(62)0744
下宇和保育園	
宇和町皆田1105番地	定員40人 ☎(62)1530
明間保育園	
宇和町明間1068番地	定員20人 ☎(67)0303
宇和保育園	
宇和町下松葉177番地1	定員120人 ☎(62)2588
三瓶福祉会	
ひまわり保育園	
三瓶町朝立2番耕地55番地3	定員60人 ☎(33)3066

受付期間 12月1日（月）～13日（土）

※土・日・祝日は除く。

※保育所（園）での受付は土曜日も含む

提出いただくもの

①施設型給付費等支給認定申請書及び利用希望申込書

②入所申込児童家庭状況調査表

③保育を必要とする証明書

※一部の人に①～③以外が必要な場合があります

※転入者は過去2年分の「市民税所得課税証明書等」

（ご両親分それぞれ）が必要です

※様式は市役所 社会福祉課、各支所生活福祉課、各保育園にあります

保育を必要とする事由

いずれか一つに該当する場合、申し込み可能です。

・就労（フルタイムやパートタイムなど、基本的に全ての就労を含む）

・妊娠、出産

・保護者の疾病、障がい

・同居または長期入院している親族の介護や看護

・災害復旧

・求職活動（起業準備を含む）

・就学（職業訓練校などでの職業訓練を含む）

・虐待やDVなどの恐れがある場合

・その他、上記に類似する状態を市町村が認める場合

保育時間

最長11時間保育…ご両親ともに「保育を必要とする事由」が、1カ月120時間以上ある場合に申し込み可能。

最長8時間保育…ご両親ともに「保育を必要とする事由」が、1カ月64時間以上ある場合に申し込み可能。

※保育時間は相談に応じて対応可能な場合があります。

希望する保育時間によって保育料などが異なります。

**問** 市福祉事務所 社会福祉課 ☎0894(62)6428  
明浜支所 生活福祉課 ☎0894(64)1282  
野村支所 生活福祉課 ☎0894(72)1113  
城川支所 生活福祉課 ☎0894(82)1115  
三瓶支所 生活福祉課 ☎0894(33)1313

①現金を振り込まない！  
公的機関を名乗る職員から「手続きのためにATMの操作をして」と言われたら詐欺です。  
②送らない！  
「レターパックや宅配便で現金を送って」と言われたら詐欺です。  
③手渡さない！  
身内が必要だという現金を、代理の人に渡さない。公的機関を名乗る職員から「カードや通帳を預かります」と言われたら詐欺です。

◎「今買えば必ずもうかります」  
◎「元本も保証します」  
◎「金融庁の者ですが、××社の株式が近々上場予定なので、信用しても大丈夫ですよ」  
◎「未公開株で出た損を取り戻す代わりに別の商品を購入してください」  
被害者相談窓口  
夜間・休日も受け付けています。詐欺被害のほか、事件・事故、DVやストーカー、いじめなど、一人で悩まずご相談ください。  
☎089(931)9110  
☎#9110（通話料有料）

大学生がマルチ商法のトラブルに巻き込まれるケースが増加しています。商品などを契約して組織に加入させた上で、新たな加入者を見つけることによりマーケティングが支払われる商法のことを連鎖販売取引（いわゆるマルチ商法）といいます。別名「ネットワークビジネス」とも呼ばれています。参加するには費用が必要で、支払いに借金やクレジット払いを利用して返済に困っているという相談が寄せられています。勧誘には友人など身近な人間関係を利用することが多いため、人間関係が破たんする場合があります。

巻き込まれないためのアドバイス  
◎「簡単にもうかる」、「すぐに取り戻せる」などの言葉を信じて、安易に契約してはいけません  
◎消費者の知識・経験・財産の状況から考えて不適當と認められる勧誘は禁止されています  
◎マルチ商法による契約はクーリング・オフできる場合があります  
◎期間を過ぎても中途解約ができます  
◎不安なことがあったり、トラブルに巻き込まれたりした場合は、一人で悩まずご相談ください

## 詐欺被害にあわないための「3ない行動」

## 大学生はマルチ商法に注意！

## 警察署だより

問 西予警察署 ☎0894(62)0110

## 消費生活センターだより

問 市消費生活センター ☎0894(62)1285

## 休日当番医

変更となる場合があります。念のため医療機関へ確認の上、お出かけください。

宇和・明浜地区	
12月7日(日)	若宮診療所 ☎0894(62)0077
12月14日(日)	二宮医院 ☎0894(62)0144
12月21日(日)	近藤医院 ☎0894(62)2311
12月23日(火)	おだクリニック ☎0894(62)6606
12月28日(日)	かどた医院 ☎0894(62)6722
12月31日(水)	松葉診療所 ☎0894(62)0688

野村・城川地区	
12月7日(日)	おか医院 ☎0894(72)3456
12月14日(日)	野村病院 ☎0894(72)0180
12月21日(日)	宇都宮内科 ☎0894(72)3333
12月23日(火)	野村病院 ☎0894(72)0180
12月28日(日)	野村病院 ☎0894(72)0180
12月31日(水)	野村病院 ☎0894(72)0180

三瓶地区	
12月7日(日)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199
12月14日(日)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199
12月21日(日)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199
12月23日(火)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199
12月28日(日)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199
12月31日(水)	内・外 八幡浜急患センター ☎0894(24)1199

小児科	
12月7日(日)	みかんこどもクリニック(八幡浜市白浜通) ☎0894(20)8800
12月14日(日)	亀井小児科(大洲市東大洲) ☎0893(24)3757
12月21日(日)	八幡浜急患センター(八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
12月23日(火)	おおむら小児科(内子町城廻) ☎0893(44)7117
12月28日(日)	守口小児科(八幡浜市産業通) ☎0894(24)7770
12月29日(月)	大洲なほしクリニック(大洲市東若宮) ☎0893(25)7710
12月30日(火)	山下小児科(宇和町伊賀上) ☎0894(62)6801
12月31日(水)	ごとう小児科(大洲市東大洲) ☎0893(23)0510

市内救急病院	
二次救急(平日夜間および休日)	
12月	奇数日が西予市民病院 偶数日が野村病院

西予市民病院 ☎0894(62)1121  
市立野村病院 ☎0894(72)0180  
二次救急は中症～重症患者の受け入れをする医療機関です。検査・入院・手術が必要な場合に備え、医師と外来看護師が当直し、検査・放射線の技師が待機して救急医療にあたっています。



### 不動産の合同公売会

差し押さえ不動産の合同公売会を実施します。

日時 12月3日(水)午後1時～

場所 愛媛県中予地方局(松山市)

詳しくはホームページかお電話でお問い合わせください。

問 愛媛地方税滞納整理機構  
☎089(913)5800  
http://www.ehime-kikou.jp



### 野村・惣川幼稚園の入園児

平成27年度の入園児を募集します。野村幼稚園では預かり保育も行っていきます。詳細はお問い合わせください。

受付期間 12月1日(月)～12月25日(木)

※土・日・祝日は除く。郵送可  
願書の受付場所  
各幼稚園、学校教育課、野村教育課  
募集園児  
5歳児(平成21年4月2日～22年4月1日生まれ)、4歳児(平成22年4月2日～23年4月1日生まれ)、3歳児(平成23年4月2日～24年4月1日生まれ)

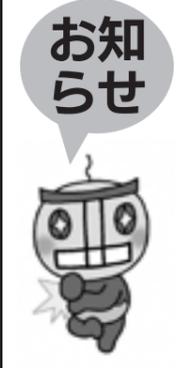
野村幼稚園175人  
惣川幼稚園20人

問 野村幼稚園  
☎0894(72)0373  
惣川幼稚園  
☎0894(76)0004

### ひな人形を貸してください

宇和文化の里施設(先哲記念館・開明学校・民具館・米博物館)では、毎年2月から4月に「宇和の雛めぐり」と題してひな人形を展示しています。今回、新たな企画として「企画サポーター」を募集します。皆さんのご自宅に眠っているひな人形を、期間中一緒に展示させてくださいませんか。詳しくはお問い合わせください。

問 先哲記念館  
☎0894(62)6700



### 壊した建物はありますか

平成26年中に建物を取り壊して、固定資産税にかかる「家屋滅失届」を提出していない人は、平成27年1月15日(木)までに市役所税務課(または各支所総務課)まで届出をしてください。ただし、平成26年中に「建物滅失登記」をしている人は、届出不要です。

問 市役所 税務課  
☎0894(62)6401

### 地デジの支援が終了

国が実施している地デジ難視対策のための各種支援制度は、平成27年3月末で終了します。期限までに地デジ対策工事を完了するには、遅くとも12月中の申し込みが必要です。早めの申し込みをお願いします。

問 総務省 地デジコールセンター  
☎0570(07)0101

### 競争入札の参加資格審査

平成27・28年度の西予市競争入札参加

所か西予警察署までご連絡ください。

問 宇和島年金事務所  
☎0895(22)5440

### 年金記録の確認を

年金の加入記録に「もれ」や「誤り」があると、受け取る年金額にも影響が出てきます。自分の年金記録が正確かどうかは、日本年金機構から送付される「ねんきん定期便」で確認できます。「もれ」や「誤り」があるのでとは不安な人は、まずご確認いただき、年金事務所までご相談ください。

問 宇和島年金事務所  
☎0895(22)5440

### ひとり親家庭への貸付

対象となるのは母子・父子家庭の母と児童、寡婦と子です。申請には事前相談が必要です。

貸付の種類  
修学資金(授業料など)、就学支度資金(就学準備資金)、技能習得資金(知識や技能を習得するための資金)、修業資金(運転免許取得資金など)、就職支度資金(就職するための資金)

問 市福祉事務所 社会福祉課  
☎0894(62)6428

### 広報文芸

#### 漢詩

宇和清流吟社  
郷に鶴来る。 松本 鷹行  
森風 老いを促す僻村の辺り  
倏忽 雲を破つて光彩娟なり  
遼北方より翔影到り  
乾坤諠を破つて鶴聲鮮なり

#### 川柳

川柳「城の和」  
予報士の解説やたら長い夏  
口出しはよそう孫には親がある  
障子張り上手になった頃終わる

中城 英雄  
山内 一雄  
芝 英子

#### 短歌

中川短歌会  
潮引きし巖島鳥居の砂浜に牟寿旅路の足跡残しぬ 上甲ヤエコ  
新米に間引き大根のお葉漬を添えていただく夕餉うれしき 横手 よね  
闘病の苦しき顔を見せもせて卒寿の遺影おだやかなりき 三好 勇  
多田短歌会  
旧るとても先洋々と陽が当りわだつみの潮に吾は乗りに行く 大本 登  
会終えて帰りし庭に月明かり霞の中に木々の影おき 西岡 恵子  
曾孫らの宝の箱にかたつむり両手ひろげて吾に見せくる 三瀬みつぎ

#### 俳句

かりがね吟社  
孫の手を取りて野の道赤のまま 大谷 重弘

夏だれの身に飼ひ猫の甘えけり 長友 恵子  
つくつくの一声残す夕厨 佐藤 博子

月見草句会(宗一選)  
長き夜や今平穏な日々を得て 川添 孝子  
とりとめもなく子と語りある夜長 上甲 正美  
長き夜や熱きコーヒー淹れなほす 滝澤 浩子

ささご句会(カホル選)  
稲架楔ちりばめ伊予の奥座敷 高橋おさむ  
やわらかな雨に冬薔薇彩ふかむ 清水 逸子  
半眼のお大師像や暮の秋 是沢 靖子  
笠置句会  
かまきりの身がまへしまま枯れてをり 三好トシミ  
柿落葉風吹きまま西東 三好 益男  
夜もすがら虫の音聞いて夢を見て 三好 信子

銀杏吟社  
秋澄むや水切りの石川面打つ 久保田中耕  
山並みの西に原発秋澄みぬ 中田 肇  
冷やかな余韻に暮れる寺の鐘 山口 文規  
三瓶俳句会  
しづかなる石に鳴く虫しづかなる 宇都宮 伝  
手の届く枝より挽いで庭の柿 久保田けい子  
秋潮の満ちし河口に鰯の群 山本真津子

### ぜひ一読を「こんぺいとう～おいね診療譚」



リード社(発)  
6000円+税

西予市ゆかりの偉人「楠本イネ」が主人公のコミックスが8月27日に発行されました。青春時代を過ごした卯之町が舞台の物語です。「おいね」は医師を志しながら、父シーボルトの残した文献と、師・二宮敬作仕込みの医療知識で役人たちを悩ます難事件を法医学ミステリーさながらに解決していきます。年代問わず楽しめる内容ですので、ぜひ一読ください。※第1回西予市おイネ賞事業懸賞作文集「楠本イネの志を継ぐ」(1000円+税)も発売中です。

問 市役所 政策秘書室 ☎0894(62)5000

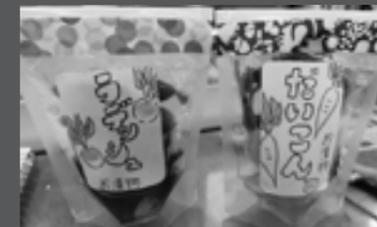
## お誕生おめでとう

## おくやみ

○10月届出分(敬称略)。親族等のご承諾を得て掲載しています。  
掲載を希望されない場合は、届出の際にお申し出ください。  
※この記事を営利目的に利用することを禁じます。

## せいよ地域づくり交付金で こんなことやりました！

野村地域自治振興協議会  
(野村町野村地区)



### 特産品開発事業

「野村にもぜひ、みんなが思い当たる特産品を！」との意見をもとに、地元で取れる大根などの食材を使って特産品開発を行いました。  
地産地消に留まらず、野村地区を広い地域にPRできる商品の開発に今後も力を入れます。

にきぶ地域づくり会  
(三瓶町二木生地区)



### 世代間交流事業

以前から実施している夏祭りを工夫しました。公民館駐車場を会場に、地域の方々や諸団体が屋台を出店。ゲームや福引で大人から子どもまで楽しむことができました。  
世代間の交流や融和が図られ、地域の活性化へつながりました。

## 表彰

第64回えひめ婦人大会(10月15日)  
愛媛県知事表彰：河野深淑、愛媛県教育委員会教育長・連合婦人会長連盟表彰：魚成婦人会、清水悦子・松本幸枝、婦人活動功労者会長表彰：竹内節美・下山智代味

## がんばれ せいよのアスリート！ アーティスト！

### アーティスト部門

平成26年度歯・口の健康に関する図画・ポスター・啓発標語コンクール  
〈小学校ポスターの部〉1位：田中甲斐 杜(狩江小4)

## 「行政改革大綱」の答申

行政改革に関する諮問機関「西予市行政改革推進委員会」(高松岩男会長・井上照代副会長)から、「第2次西予市行政改革大綱」進捗状況の答申が10月3日に行われました。



急激な少子高齢化に伴い、地域づくり交付金事業などを生かした協働による新たな行政サービスに期待をしている一方で、平成27年度から段階的に削減される地方交付税交付金は市の財政をさらに厳しいものにするため、緊張感を持った行財政改革を推進する必要があります。

問 市役所 企画調整課  
0894(62)6403



## 夜間HIV検査・電話相談

12月1日～7日の「愛媛エイズ予防週間」に合わせて、八幡浜保健所では「夜間HIV検査・エイズ電話相談」を無料で実施します。  
陰性の場合、当日30分程度で結果が出ます。感染の機会があつてから3カ月以上経過しないと、結果が正確でない場合があります。

## いじめなどの人権相談

「人権問題に関する12時間電話相談」を開設します。差別待遇、暴行、虐待、いじめ、プライバシーの侵害など、家庭や近所での人権問題に関するあらゆる相談に応じます。予約不要、無料、秘密厳守。  
日時 12月4日(木)

日時 12月4日(木)  
午後6時～7時30分  
場所 八幡浜保健所  
受付方法 匿名、予約不要  
※HIV検査・相談は毎週月曜日(祝日を除く)の午前10時～11時にも行っています。ご利用ください。  
問 八幡浜保健所  
0894(22)4111

## 各種相談

相談は無料。秘密は固く守られます。

### 行政相談

狩江公民館(明浜町)  
12月2日(火)午前9時～正午  
市役所 1階相談室  
12月11日(木)午前10時～午後2時  
野村公民館  
12月8日(月)午前9時～11時  
三瓶支所  
12月16日(火)午後1時～3時

### 人権相談

明浜老人福祉センター  
12月3日(水)午後1時～3時30分

### 結婚相談

教育保健センター  
12月5日(金)午前10時～午後3時  
総合センターしろかわ  
12月19日(金)午後2時～4時

### 心配ごと相談

市社会福祉協議会 宇和支所  
12月9日(火)午後1時～3時  
12月24日(水)午後1時～3時

### 渡江集会所(明浜町)

12月12日(金)午後1時～3時  
野村保健福祉センター  
12月9日(火)午後1時～3時  
市社会福祉協議会 三瓶支所  
12月15日(月)午後1時～3時

### 法律相談※予約制

市社会福祉協議会 宇和支所  
12月19日(金)午後2時～4時  
予約先：市社会福祉協議会 宇和支所  
0894(62)2000  
野村保健福祉センター  
12月9日(火)午前10時～午後3時

予約先：市社会福祉協議会 本所  
0894(72)2306

市社会福祉協議会 三瓶支所  
12月15日(月)午後1時～3時30分  
予約先：市社会福祉協議会 三瓶支所  
0894(33)3046

### 介護・福祉・認知症相談

市社会福祉協議会 宇和支所  
12月1日(月)午後1時～3時  
渡江集会所(明浜町)  
12月12日(金)午後1時～3時  
三瓶支所  
12月15日(月)午後1時～3時

午前9時～午後9時  
電話番号 0120(459)737  
携帯電話からの相談も可能  
相談担当者  
人権擁護委員と法務局職員

周木地区自主防災会が、災害時の情報連絡用トランシーバーやメガホン、レスキューキッドなど14品を購入。(一財)自治総合センターの宝くじ助成事業によるもの。



防災訓練や普及活動を実施して、防災対策を図っていきます。

よ! せい坊 せいのたけ



「せい坊」オフィシャルホームページ  
<http://www.seibou.jp/>  
 いよいよ冬が到来!  
 市内もイルミネーションで輝くよ!!

市民のうごき  
(10月末現在)

※住民基本台帳法による。カッコ内は前月比

人口	41,224人(-60)
	男 19,369人(-31) 女 21,855人(-29)
世帯数	18,595世帯(-32)
出生	22人(+2)
	男 11人(+3) 女 11人(-1)
死亡	69人(+8)
	男 32人(+4) 女 37人(+4)

※H24.7.9 住民基本台帳法改正により、外国人を含む人口・世帯数を記載しています。

12月の納税

固定資産税 3期 保険税 6期  
 納期限は12月25日(木)  
 (口座振替は12月25日)

イベント情報

11/30(日)~2/14(土)  
 あけはまシーサイド  
 イルミネーション2014  
 西予市合併10周年記念事業。LED10万球  
 が彩る。点灯式は11/30午後5時から。  
 ④ 午後5時~10時  
 ⑤ あけはまシーサイドサンパーク  
 ⑥ 明浜支所 総務課 ☎0894(64)1280

12/5(金)  
 子育てサロン スキップClub  
 お正月飾り作り  
 ④ 午前10時~11時30分  
 ⑤ 宇和児童館「うわっこ」  
 ☎0894(62)7331

12/7(日)  
 第28回中高年齢者駅伝競走大会  
 第21回女子駅伝競走大会  
 中高年齢者駅伝1部・2部(5区間・21km)、  
 3部および女子駅伝(5区間・17km)  
 ④ 午前10時開会式、11時スタート  
 ⑤ 宇和町小学校グラウンド発・着  
 ⑥ 文化体育振興課 ☎0894(62)6416

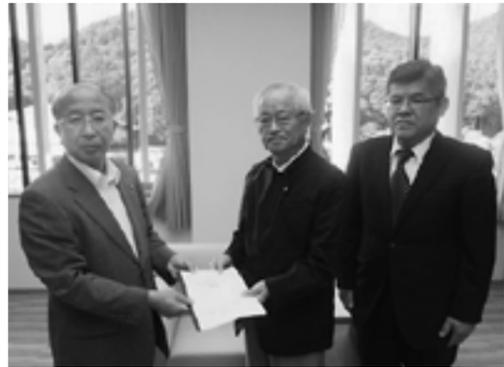
12/14(日)  
 元気だ! せいよひろば  
 元NHK「ためしてガッテン」演出担当デ  
 スクによる講演会「ガッテン流健康生活の  
 極意! ~さよなら三日坊主の私~」ほか。  
 野菜たっぷりちゃんこ丼販売など。  
 ④ 午前10時~午後3時30分  
 ⑤ 宇和文化会館  
 ⑥ 入場無料・講演会は託児あり  
 ⑦ 健康づくり推進課 ☎0894(62)6407

平成27年 西予市成人式

ご家族の方も、ぜひおいでくだ  
 さい! 祝筈、式典、記念行事(新  
 成人の意見発表)、成人記念VTR  
 「ふるさとせいよ」上映、記念撮  
 影などを行います。

日時 1月3日(土)  
 午後0時30分受付開始  
 午後1時30分開式

会場 宇和文化会館  
 問 市教育委員会 生涯学習課  
 ☎0894(62)0692



JR卯之町駅周辺、重要伝統的建造物群保存地区、商店街を  
 資源の核とし、住民の皆さんと行政・民間が一体となった卯  
 之町のまちづくりを検討しています

卯之町「はちのじ」まちづくり構想

卯之町「はちのじ」まちづくり推進  
 委員会(山本浩二会長、宇都宮利行副  
 会長)(※以下推進委員会)から進捗状  
 況などについて中間報告書が10月8  
 日、提出されました。

平成25年10月の「卯之町駅前づくり  
 市民検討委員会」の答申内容を尊重し  
 ながら、市民向けのアンケートや講演  
 会、ワークショップなどで出た意見を  
 参考に取りまとめを行いました。

推進委員会は今後も継続して行われ、  
 平成27年3月までに「整備計画」の策  
 定を行うこととしています。

卯之町駅前周辺に関する主な意見

- ◎ 歩行者優先の交通対策
- ◎ 商店街や重伝建に誘導する看板の設置
- ◎ 市民の憩いの場の設置
- ◎ 商店街に関する主な意見
- ◎ 車の通過速度の問題解決
- ◎ 空き家・空き店舗の利活用
- ◎ 重伝建に関する主な意見
- ◎ 空き家の利活用
- ◎ 景観に関するルール作り
- ◎ 防災対策

※「はちのじ」とは数字の「8」を描  
 くように、人の流れが途切れることの  
 ない街づくりを意味します。

問 市役所 企画調整課

☎0894(62)6403

みんなの人権ひろば

いじめ問題を考える(その2)

森田洋司さんの著書「いじめとは何か—教室の問題、社会の問題—」は、「いじめ問題は、社会全体から見れば学校という一部でおきている問題に過ぎないかもしれない。しかし、それが子どもたちの世界で起きているゆえに、また、子どもたちの成長に影を落とす問題であるだけに、これからの日本社会の在り方を見通すのぞき穴となる」と結んでいます。

講演のレジュメにも「安全・安心・快適な社会づくりを担う子どもたちの育成に向けて(いじめをしない子どもの育成)について次の4つの提言がありました。  
 ①「減点社会」型から「加点社会」型への発想の転換。自分の人間的・社会的存在の大切さを他者から認められることによって、自己肯定感や有用感が育ち、かけがえのない人間であることの自覚が生まれる  
 ②自分の大切さとともに他の人の大切さやお互いの違いを認める態度を形成。補いつつ支え合う関係づくりを育ていく

③社会的な絆づくりと居場所づくり  
 ④お手伝いのすすめ→社会的な役割の遂行。割り当てられて仕事を体験することによって、さらに集団の役割と活動に就くことによって成就感、帰属意識、自己有用感などを育む  
 現実のいじめ防止について「かがやき」第10集(平成26年発行)で高校生が次のように訴えています。  
 「いじめ防止のために一番大切なこと、それは『傍観者』が変わることだと思う。つまりいじめにおいて『傍観者』とは、いじめを受けている人がいるにもかかわらず、助けようとならない。いじめをしている人に対して注意もせず、ただ見ているだけ。いじめがあるという現実を見て見ぬふり、気付いてないふりをする。このような人のことを示しているのだと私は思った。この『傍観者』が変わればいじめはなくなるころまではいかないかもしれないが、少なくとも減ると思う」

問 市教育委員会 生涯学習課 ☎0894(62)6415

# かがやき西予人



天国のお父さん、お母さんへ  
「今、何とかやっています」

「大きくなったら一緒に農業しような、と折に触れて言われていたので、大人になったら父と一緒に農業をするものだと、その日まで普通に思っていました。優しい父が大好きでした」。

みかん農家だったお父さんが亡くなったのは、吉洋さんが小学校6年生のとき。病魔に襲われ、ある日突然この世を去りました。37歳でした。悲しくて寂しくて、「一人では農業できない」と思ったと話します。

「その後、農大ではなく一般の大学に進学しました。でも、そのおかげで妻に出会えた…かな？」

大学卒業後に、今治市の会社に就職。中国工場に配属と



菊地吉洋(37)＝三瓶町蔵貫浦/きくち・よしひろ：平成23年11月に帰省し、会社員からみかん農家へ転身。妻 花さん(写真左・34)と由記ちゃん(8)、由桜ちゃん(4)、由和ちゃん(1)の5人家族。花さんは朝鮮語、中国語、日本語の3カ国語を操る。

なり、現地では出会ったのが通訳の金花(きん・はな)さんです。結婚して子どもにも恵まれた中、34歳で帰郷を決意したきっかけは母の死でした。

「父も母もいなくなった家で、どうやって仕事をしていくか見通しも立たないまま、とりあえず帰省しました。知識も技術もない自分が、今どうにかみかんを作れているのは、支えになってくれる叔父たちや、技術を教えてくれる先輩方のおかげです」。

天国の両親へ「今、なんとかやっています」と伝えたいとほほ笑む吉洋さん。いいみかんを作って「普通に生活できるようになる」ことを目標に、真っ黒に日焼けした顔で今日もみかん山へ通います。

## 編集後記

私の両親はみかん農家です。真っ黒に日焼けして、一生懸命に働く姿を子どもの頃から見えています。「農家になる」と言う私に、「大変やけんならんでいい」と父が言ったのは、中学生のときでした。だからでしょうか、かやぶき職人が市内からいなくなったと知ったとき、まるで自分のことのように胸が痛みました。「後継者がいない」、「技術が伝承できない」という問題は、今やヒトゴトではありません。今回、「かやぶき」という狭いテーマから市内を覗きましたが、その先には他にも共通する多くの問題が潜んでいました。かやぶきが身近にない地区の人は、「他のもの」に置き換えて読んでいただければ幸いです。(堀)

広告募集します

問 市役所 情報推進課 ☎0894(62)6404

広告募集します

問 市役所 情報推進課 ☎0894(62)6404

有料広告